

授業科目	* 小児看護学演習				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21303J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	小野 正子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 健康障害をもった子どもや家族に対する看護援助について事例学習を通して展開する。また、ケアに必要な基本的看護技術についての知識を理解し技術を習得する。これらを実務家教員として臨床現場での経験を生かし、具体的な例等をあげながら解説する。							
学生が達成すべき行動目標	1. 健康障害をもった子どもの事例を通して看護過程を展開し、看護計画を立てることができる。 (DP2-1 DP3-1 DP4-1) 2. 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。 (DP2-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	10	60	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5	10	50				65	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0		5				5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)	2		5				7	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	3						3	
技能・表現 (DP5-2)	20						20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
紙上の事例を用いて看護過程を展開し、子どもの成長発達を踏まえ、子どもと家族を含めた個別性のある看護計画をたてることができる。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得し、状況に応じて応用できる。				紙上の子どもの事例を用いて看護過程を展開し、標準的な看護計画をたてる事が出来る。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:科目のオリエンテーションおよび健康障害をもった子どもの事例検討(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 事例紹介と今後の進め方について解説する。	教科書、資料を用いた講義及びグループワーク	事例についての疾病、症状、発達の特徴を見直し、グループワークを効果的に進められるように準備しておく	60
2	テーマ:事例検討1(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) グループワークの形態で進める。提示された事例1について各グループで情報の整理統合を行う。	グループワーク	グループで計画的に進めるための準備しておく	60
3	テーマ:事例検討2(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) グループワークの形態で行う。各グループで情報の整理統合し、アセスメントを行う。事例2の紹介。	グループワーク	不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく	60
4	テーマ:子どものケアに必要な看護技術1(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) バイタルサイン測定、身体計測に必要な看護について解説する。	教科書・資料・DVDを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回技術演習にむけて授業内容について配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておく。	60
5	テーマ:子どものケアに必要な看護技術2(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 検査・処置に必要な看護(採血・採尿等)、心肺蘇生について解説する。	教科書・資料・DVDを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回技術演習にむけて授業内容について配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておく。	60
6	テーマ:小児看護技術演習1(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施、習得する。(前半グループ)	技術演習・課題学習	復習:本日の演習内容の振り返り 予習:次回技術確認にむけて授業・演習内容、配付資料、テキスト、参考資料等に目を通し、空き時間に練習をしておくこと	60
7	テーマ:小児看護技術演習2(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施、習得する。(後半グループ)	技術演習・課題学習	復習:本日の演習内容の振り返り 予習:次回技術確認にむけて授業・演習内容、配付資料、テキスト、参考資料等に目を通し、空き時間に練習をしておくこと	60
8	テーマ:事例検討3(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 事例2について各グループで情報の整理統合とアセスメントを行う。	グループワーク	不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく	30
9	テーマ:事例検討4(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 各グループでアセスメントに基づいて、健康問題関連図を作成する。	グループワーク	不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく。	30
10	テーマ:事例検討5(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 各グループでアセスメントに基づいて、健康問題関連図を作成し、健康問題を導き出す。いくつかのグループによる発表討議を行う。	グループワーク	不足の資料を追加し、アセスメントを進めておく	60
11	テーマ:事例検討6(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 各グループでアセスメントに基づいて、健康問題関連図を作成し、健康問題を導き出し、看護計画を立てる。	グループワーク	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回技術確認にむけて授業内容について配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておく。	60

12	テーマ:小児看護技術確認、課題学習1(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測について期技術テスト(子どものモデル人形使用)。(前半グループ)	技術確認・課題学習	復習:本日の演習内容の振り返り 予習:次回技術確認にむけて授業・演習内容、配付資料、テキスト、参考資料等に目を通し、空き時間に練習をしておくこと	60
13	テーマ:小児看護技術確認、課題学習2(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) バイタルサインの測定、計測について期技術テスト(子どものモデル人形使用)。(後半グループ)	技術演習・課題学習	復習:本日の内容の振り返り	90
14	テーマ:事例検討の発表1(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 6~7グループが発表する。	グループワーク発表	復習:本日の内容の振り返り	90
15	テーマ:事例検討の発表2(小野正子、原山裕子、樋口由貴子) 6グループが発表する。	グループワーク発表	復習:本日の内容の振り返り	20
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	健康障害をもった子どもと家族を理解し看護過程を展開するには、既習の専門教育科目(看護を学ぶための基礎、看護実践の基本)を十分に理解しておく必要があります。振り返り学習しておいてください。			
テキスト	中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学1 小児の発達と看護、メディカ出版、2017. 中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学2 小児看護技術、メディカ出版、2017.			

参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介	授業中に適宜紹介します。
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	演習に関しては事前学習を十分に行い準備を万全にして演習に臨んで下さい。またグループワークが多くなるので、積極的に事前学習を行い、討議に参加して下さい。
達成度評価に関する コメント	技術テストの評価については、授業の中で提示、説明します。グループワーク、課題学習の評価についても授業の中で説明します。